

ホームページへの掲載		
済	7 月 4 日	掲載

岐阜県立大垣桜高等学校

校 長 渡辺 美智子
学校住所 大垣市墨俣町上宿 4 6 5 番地 1 電話 0584-62-6131

- 1 会議の名称 平成30年度 岐阜県立大垣桜高等学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|-------|-------------------------------------|
| 委 員 | 青山 淳子 | 墨俣児童館 館長 |
| | 岡田 祐樹 | 卒業生代表（エグゼクスガーデン調理師） |
| | 河合 真弓 | かがやきライフタウン大垣イベント実行委員 |
| | 長崎 哲也 | 自家焙煎 長崎屋 店主 |
| | 羽山 浩 | 特別養護老人ホーム あすわ苑施設長（欠席）
（委員名は五十音順） |
- 学 校 側
- | | |
|-------|--------|
| 岩田由美子 | 育友会長 |
| 渡辺美智子 | 校長 |
| 大野 仁史 | 事務長 |
| 乙津真由美 | 教頭 |
| 瀬下 裕基 | 教務主任 |
| 須藤亜由子 | 生徒指導主事 |
| 福島 洋之 | 進路指導主事 |
| 郷 絵美 | 家庭部長 |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民・関係機関の代表の方から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援、協力を得て、開かれた魅力ある学校作りを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年6月25日（月） 13:15～15:15 大垣桜高等学校校長室
委員4人と学校側8人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 校長挨拶
 - (2) 学校評議員へ委嘱状交付
 - (3) 授業参観（第5時限）
 - (4) 協議
 - (5) 委員からの提言

テーマ 「開かれた魅力ある大垣桜高校を目指して」

学校説明

校長から平成30年度の学校の概要及び方針と重点を説明
教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、家庭部長から各分掌の方針と重点を説明

委員からの意見

意見 1 授業を参観し、生徒の楽しそうな様子が分かった。専門科の授業はもちろん、普通教科も、自分から書いたり、話したり、教師との関係がよくできている。生徒に考えさせる授業の方式がとられていて良い。1年生の実習では、おぼつかない手つきであるが一生懸命取り組む姿が素晴らしい。教育方針も年々良くしていくために、指標も具体的で全体

の底上げを目指している。

情報モラルの向上を生徒会活動として生徒自身が自分たちの問題として取り上げていることも良い。

生徒たちが、実際に職業に就いたあと、現実に関心が折れて仕事を辞めてしまった場合にも次にも頑張れるようなバックアップをしてもらえるとよい。

意見2 少人数で実施している授業に魅力を感じた。隅々まで行き届いた指導ができており、生徒にとっても大変恵まれているとのことなのでずっと続けてほしい。

遅刻を減らしているということは、努力があつてこそそのことで保護者にも協力していただいて挨拶運動等もしている。多くの人に支えられている。

卒業生と会う機会があるが、子育てもしっかりやり、マナーもきちんとしている。

意見3 実習では、コンロの火を使うなどの機会があるが、小・中学校の家庭科とは違ったレベルの高い指導をしており、先生方も気を付けている様子が分かった。自店が生活文化科とのコラボレーションをしたことがあるが、大垣桜高校は、地域とのつながりを大切にしているので、商工会とも連携して墨俣町との親交を深める一役を担ってくれるとよい。地域の人々が大垣桜高校の生徒に関心をもち地域の防犯にも繋がる。

意見4 それぞれの科の取組や学習を、校外だけではなく、校内の別の学科の生徒にも発信し、お互いを理解するとよい。

少人数の授業は、分からないことが分からないまま過ぎていかないので効果的である。

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定を終え、予算がなくなるが引き続き何か実践するのか。

→今年度は別の指定事業を3つ受けている。SPH研究を引き継ぎ今後もテーマをもって課題解決のための実践をしていく。産業界ともさらに好循環にしていきたい。

意見5 今後も学校と協力しながら、子どもたちが楽しく学校に行くよう見守り続けたい。

6 会議のまとめ

今回の会議では、授業参観等を通して生徒が生き生きと主体的に授業に取り組んでいる様子を理解していただいた。今後も、自律的な学習習慣の確立を図るとともに、学んだ知識や技術を基に自ら課題を見付け解決しようとする姿勢を養っていきたい。

外部からいただいた意見を具体化し、今後も生徒が頑張っているところを広くPRして、さらに注目される学校になるよう取組を積み上げたい。